



令和4年度

事業報告書



私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

公益財団法人 北九州市身体障害者福祉協会

目 次

令和4年度事業報告

1. 総括	1
2. 事業の実施概要	
I. 法人運営	1
II. 公益目的事業	3
【公益事業1】	
社会参加推進事業	3
【公益事業2】	
東部障害者福社会館事業	10
西部障害者福社会館事業	19
III. 収益目的事業	34
【収益事業1】	
点字・声の市政だより等作成事業	34
IV. その他事業	35
【その他事業1】	
地域障害者団体支援事業	35
V. 他団体連携事業	35

総 括

令和4年度は、年度当初から新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が広がったものの、年明けにはインフルエンザウイルスと同等の5類相当に引き下げが検討される段階となり、長きにわたり制約のあった協会内での取り組みもようやく通常どおりに戻る兆しが見えてきました。

東西の福社会館においては、昨年度と同じく、生活に必要な情報を提供する手話通訳・要約筆記・盲ろう通訳ガイドの派遣3事業と点字図書館の図書の貸出業務は、サービスを止めることなく通常業務を行いました。また、貸館業務については、部屋の利用定員の3分の1に収まるように利用をお願いしていた状況から、2分の1までに利用制限を緩和したことで、利用者の数もコロナ前の水準まではほど遠いものの、上昇傾向となっています。

福社会館文化祭は、従来通りの規模で開催は出来なかったものの、東部会館は会場をウエルとばた2階に移して来館者を受入れ実施し、西部会館は対面の会館サークル体験会を代替イベントとして実施しました。

事業については、利用制限が緩やかになってきたことで、会場での直接参加を主流としながら、直接参加とオンライン参加を選択できる「ハイブリット方式」も取り入れ、効率よく参加者を集めることができました。これらコロナ禍で培ったノウハウは、今後の事業実施のスタンダードとして定着すると思われます。

障害者芸術文化活動支援では、ウエルとばた大ホールで開催された第15回障害者芸術祭ステージイベントを、今回は利用制限を設けることなく計画通り実施することができました。また、作品展示は、北九州市立美術館アネックス市民ギャラリーで開催し、多くの方に楽しんでいただくことができました。

職員の資質向上については、階層別研修として主任職研修を実施した他、その他の分野については、各セクションで外部団体が主催するオンライン研修に職員を参加させるなど、スキルの向上に努めました。

~~~~~ 事業の実施概要 ~~~~~

I 法人運営

(1) 組織運営に関わる各種会議の開催

① 理事会

開催日	内 容	出席
5月27日(金)	令和3年度 事業報告について 令和3年度 決算報告について 特定費用準備資金の積立について 補正予算について(第1次) 諸規程の変更について 評議員会の招集について	理事 9人 監事 2人
令和5年 2月20日(月)	令和5年度 事業計画(案)について 令和5年度 予算(案)について 変更認定申請について 評議員会の招集について	理事 8人 監事 2人

② 評議員会

開催日	内 容	出席
6月13日(月)	令和3年度 事業報告について(報告事項) 令和3年度 決算報告について	評議員 6人
令和5年 3月17日(金)	令和5年度 事業計画について(報告事項) 令和5年度 予算について(報告事項)	評議員 6人

③監査

開催日	内 容	出席
5月16日(月)	令和3年度 事業報告及び収支決算に対する監査	2人

④関係団体事務局長会議

事業の企画、検討及び関係団体相互の連携、情報交換を目的に隔月で開催しました。

期 間	回数	構成委員
4月2日(土)～令和5年2月4日(土)	5回	10人

※新型コロナウイルス感染拡大のため、8月6日(土)は中止

⑤法人運営推進会議

法人の運営に関する事項について検討するため、法人役員と管理職をメンバーとして開催しました。

期 間	回数	構成委員
6月9日(木)、11月24日(木)	2回	7人

(2)職員育成の強化

①主任職研修

開催日	内 容	参加
8月24日(水)	主任職の役割とは？	4人
9月22日(木)	主任に求められる能力	4人

②専門性を強化するための内部研修会の開催と外部の研修会への参加

所 属 内 訳	内部研修回数	外部研修回数	
		オンライン	直接参加
本部	0	10	3
東部障害者福祉会館(視聴覚情報センター含む)	2	6	2
西部障害者福祉会館(視聴覚情報提供施設含む)	10	12	10
合 計	12	43	

Ⅱ 公益目的事業

【公益目的事業Ⅰ】社会参加推進事業

ア 生活・相談事業

Ⅰ.コミュニケーション支援事業

(Ⅰ)手話協力員派遣事業

①手話通訳協力員の派遣

北九州市の手話通訳者派遣事業での対応を補うものとして、協会独自で聴覚障害者の社会参加を支援する事業として取り組みました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
派遣者数	68	23	47	33	31	30	52	47	33	30	35	23	452

※ 新型コロナウイルス感染症対策が講じられ、オンライン配信や大会等が開催されるようになり、講演会等の通訳依頼が増えたことによる派遣数増

②聴覚障害者支援のための手話通訳技術向上学習会

手話学習者のための通訳場面における通訳技術向上と実践のための学習会を開催しました。

実践学習会では手話通訳現場に即した内容で学習しました。

	実施日	回数	内 容	講 師	参加者 (人)
1	10月1日(土)～ 11月12日(土)	5	・7つのポイント学習 ・聞き取り通訳 ・読み取り通訳 (解説・演習)	・聴覚障害当事者 ・聴覚障害者情報センター職員	22 (延べ)
2	11月19日(土)～ 12月17日(土)	5	・聞き取り通訳 ・読み取り通訳 (実践編)	・聴覚障害当事者 ・聴覚障害者情報センター職員	30 (延べ)

③手話通訳協力員研修会

手話通訳協力員の現任研修会として開催しました。

	実施日	内 容	講 師	参加者 (人)
1	令和5年2月19日(日)	手話通訳技術研修会 (どうすれば伝わるか)	手話通訳士 森本 行雄氏	13
2	令和5年3月19日(日)	人間関係を損なわずに 伝える方法	OK牧場 山下 志保氏	17

※ 1は専任手話通訳者と合同で開催。2は要約筆記者・盲ろう通訳ガイドヘルパー登録者と合同で開催



手話通訳協力員現任研修会<1>



手話通訳協力員現任研修会<2>

④市長定例会見通訳担当者研修会

市長定例会を担当する通訳者の研修を行いました。

	実 施 日	内 容	講 師	参加者 (人)
1	12月17日(土)	「テレビジョン放送における手話通訳」の表現方法について技術指導 (オンライン講義)	総務省「テレビジョン放送における手話通訳育成に関する研修会」事務局	1
2	12月1日(木)～ 令和5年3月31日(金)	「テレビジョン放送における手話通訳」の表現方法について(講義編) ～YouTube～	総務省「テレビジョン放送における手話通訳育成に関する研修会」事務局	17

イ 普及啓発・情報提供事業

1. 障害者芸術文化支援事業(アートセンター事業)

平成20年度から開催している、障害のある人たちの芸術文化活動発表の場の提供と、市民への啓発を目的とした北九州市障害者芸術祭を今年度も引き続き開催しました。

ステージイベントは、特別ゲストとして、東京パラリンピック閉会式で演奏を披露されたポップヴァイオリニストの式町水晶さんに出演していただきました。

また、一般公募および推薦で選ばれた障害者アーティストによるステージでは、主に市内で活動している4グループが出演し、オカリナ演奏やヒップホップダンスなど、バラエティに富んだステージを披露しました。

作品展においては、写真・絵画・書道・手芸・工芸など225点の作品を展示し、来場された多くの方に楽しんでいただくことができました。表彰式については芸術祭ステージにて行いました。

法人独自事業としては、かがやきアートギャラリーの運営や地域のお店とのコラボ企画、市内のカフェ等で作品展を中心とした事業展開を行い、より身近な場所で市民の皆さんに障害者アートを楽しんでもらう取り組みを実施しました。

【北九州市障害者芸術祭開催事業／東アジア文化都市北九州連携事業】

(1)第15回北九州市障害者芸術祭 ※ふれあいフェスタ2022と合同開催

*入場者数 延べ1,300名(来場者1,200名、出演者・スタッフ等100名)

	日 程	会 場
1	ステージイベント 11月20日(日)	戸畑市民会館大ホール(ウェルとばた3階)
2	作品展 12月6日(火)～12月11日(日)	北九州市立美術館本館 アネックス市民ギャラリー



式町水晶さんヴァイオリンコンサート



佐々木慶一郎さんオカリナ演奏

・出展作品 (点)

種 別	作品数
絵 画	146
書 道	45
写 真	13

(点)

種 別	作品数
工 芸	10
手 芸	11

合計 225 点



受賞作品展示(ウェルとばた 大ホール)



芸術祭作品展(アネックス市民ギャラリー)

*作品展来場者数 411人(6日間合計)

○実行委員団体(9団体)

育成会(法人)、育成会(親の会)、障害福祉ボランティア協会、難聴者・中途失聴者協会、
あいず、ソーシャルファーム高山、保健福祉局障害福祉企画課、人権推進センター、身障協会

【かがやきアートギャラリー運営事業】

(2)かがやきアートギャラリー、作品展

①かがやきアートギャラリー

月ごとにテーマを決めて作品を選定し、下記のとおり展示を行うとともに障害者アートの普及および、市民に対する障害福祉の啓発に努めました。

	実施月	展示内容	作品種別、作品数
1	4月	らぐすけ 個展	絵画10
2	5月	事業所作品展(桑の実工房)	絵画10
3	6月	キャリアサポートクラブ作品展	絵画8・工芸12
4	7月	元木 宏文 個展	絵画9
5	8月	MARU 個展	絵画10
6	9月	事業所作品展(リーシュ)	絵画19
7	10月	優太 個展	絵画20
8	11月	穂田 誠 個展	写真120
9	12月	第15回北九州市障害者芸術祭受賞者作品展	絵画・工芸・写真・書道 計12
10	1月	卯年・ウサギ・跳ねる♪アート展	イラスト179
11	2月	第15回北九州市障害者芸術祭かがやき賞作品展	絵画・工芸 計10
12	3月	事業所作品展(My夢)	絵画10



優太 個展



穂田 誠 個展

【地域のお店や企業とのコラボ事業】

②かがやき作品展

市内の喫茶店およびカフェなどで作品展を開催し、より身近な場所で障害者アートを楽しんでもらう取り組みを行いました。

	実施日	会場	展示内容
1	5月2日(月) ～3日(火)	ハーブカフェ Poca Poca	田中 康弘 個展 絵画11
2	5月19日(木) ～28日(土)	カフェ アターブル	田中 康弘 個展 絵画15
3	6月1日(水) ～10日(金)	ドン珈琲館	MARU 個展 絵画10
4	6月1日(水) ～11日(土)	つくるをつなげる雑貨店 lima poepoe	田中 康弘 個展 絵画18
5	9月1日(木) ～10日(土)	つくるをつなげる雑貨店 lima poepoe	相良 徹 個展 絵画13
6	9月12日(月) ～20日(火)	ドン珈琲館	つ 個展 絵画9
7	11月30日(水) ～12月19日(月)	茶論 Salon du JAPON MAEDA	卯年・ウサギ・跳ねる♪アート展 イラスト179
8	12月1日(木)～ 令和5年 1月30日(月)	北九州市指定有形文化財 旧安川邸	卯年・ウサギ・跳ねる♪アート展 イラスト179
9	令和5年 1月23日(月) ～28日(土)	Gallery cafe 柳庵	My夢 展 絵画・書道 計12
10	令和5年 2月1日(水) ～2月12日(日)	つくるをつなげる雑貨店 lima poepoe	MARU 個展 絵画34
11	令和5年 3月2日(水) ～6日(日)	インテリアギャラリー オリーブの木	障害者芸術祭受賞作品展 絵画・書道・写真 計12



田中康弘 個展／カフェ アターブル



つ 個展／ドン珈琲館

③障害者アート商品化企画／茶論 Salon du JAPON MAEDA ×アートセンター

障害のある人たちに「干支」を描いてもらい、茶論のパッケージデザインとして商品化することでより多くの方に障害者アートの魅力を知ってもらえるよう取り組みました。

○作品募集期間

9月10日(土)～9月30日(金)

○作品審査会

10月6日(木)

応募作品179点の中から、大賞1名、入賞7名、特別賞3名の11名を選出

○表彰式および会場

12月1日(木) 11:00~11:30 北九州市指定有形文化財 旧安川邸

○『卯年・ウサギ・跳ねる♪』アート展

応募作品179点を下記の3会場で展示

茶論 Salon du JAPON MAEDA 11月30日(水)~12月19日(月)

旧安川邸 12月1日(木)~令和5年1月30日(月)

北九州市役所1階 アートギャラリー 12月26日(月)~令和5年1月27日(金)

○オリジナルパッケージ商品の販売

受賞者11名の作品を商品化し、下記の3店舗で販売

一丁目の元気

旧安川邸

茶論 Salon du JAPON MAEDA



表彰式／小倉城天守閣



『卯年・ウサギ・跳ねる♪』アート展



オリジナルパッケージ商品



『卯年・ウサギ・跳ねる♪』アート展

④黄金市場かがやきペイントライブ／黄金町市場 ×小文字ライオンズクラブ ×アートセンター

障害のある人たちで、ひとつのアート作品を創り上げるパフォーマンスを黄金市場で行い、フリマも同時開催することで、商店街の活性化と障害者アートを多くの人に知ってもらうことを目的に取り組みました。

完成した作品は障害者芸術祭作品展および、ふれあい広場などの会場で展示しました。

○日時

10月16日(日)13:00~15:30

○会場

黄金町市場アーケード内



ライブペイントの様子



ライブペイントの様子

⑤SDGsプロジェクト企画／大英産業（株）×アートセンター

北九州市における未来のこどもたちの地域育成を目的とした「北九州みらいキッズプロジェクト」で、幼稚園に寄贈するベンチペイントに協力しました。



上津役幼稚園ベンチペイント



聖ヨゼフ幼稚園ベンチペイント

2. 情報提供事業

ホームページ及び広報紙を活用し、協会の取り組みやイベントなど、各種事業の紹介を行い、外部への情報発信に努めました。

○協会機関紙「しんしょうだより」の発行

発行回数、部数 年4回発行、各1,600部

送付先 市内関係機関、団体250ヶ所

3. 啓発・要望活動事業

(1) 大会参加について

障害者施策の諸問題について、会議への参加を通じて情報交換、要望活動を行いました。

	開催日	内容	会場	参加者 (人)
1	4月18日(月)	九州身体障害者団体連絡協議会 第1回団体長・事務局長会議 ※Zoomによるオンライン		2
2	6月20日(月)	第67回日本身体障害者福祉大会 (福岡大会) ※YouTubeによるオンライン開催		
3	8月26日(金)	九州身体障害者団体連絡協議会 第2回団体長・事務局長会議 ※Zoomによるオンライン		2
4	9月10日(土) ～11日(日)	第63回政令指定都市身体障害者福祉団体 連絡協議会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため 書面決議に変更	千葉市(書面開催)	
5	11月18日(金)	第29回九州ブロック身体障害者相談員 研修会(鹿児島大会)	鹿児島 サンロイヤルホテル	9
6	令和5年 2月17日(金)	政令指定都市身体障害者福祉団体 連絡協議会 団体長会議	ホテル グランヴィア広島	2

(2) バリアフリーの取り組みについて

北九州市でのバリアフリーチェックの物差しづくりのため、定期的に情報提供を行いました。

	開催日	内容
1	4月～12月	道路の移動等円滑化ガイドラインに関する内容をメールにて情報配信(毎週水曜日)

(3)eスポーツ体験会

	開催日	内容	会場	参加者 (人)
1	令和5年 3月19日(日)	講話「eスポーツとは？」 eスポーツ体験	東部障害者福社会館	40



eスポーツ体験会〈1〉



eスポーツ体験会〈2〉

【公益目的事業2】障害者福祉会館事業

北九州市立東部障害者福祉会館

総括

令和4年度の会館利用人数は、昨年より約8,300人の増加となりました。令和4年度も新型コロナウイルス感染対策による、部屋の利用人数の2分の1制限などが影響してはいますが、徐々にコロナ禍前に戻りつつあります。

障害のある人たちの生きがい支援推進や、日々の暮らしを豊かにするための講座は、「エクササイズ教室」「陶芸体験教室」「料理教室」など13講座を実施しました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大により延期になっていたポッチャ交流会も実施しました。文化祭「ふれあい広場」の来場者は397人で、23団体が実行委員会に参加していただき、ウェルとばた2階交流プラザで実施しました。3年ぶりに規模を縮小して開催した「ふれあい広場」は、実行委員や来場された皆さんから好評で、次年度通常開催の要望も多くありました。

支援者養成講座は、障害福祉ボランティア協会・社会福祉協議会と協働し、ボランティア養成講座を2つ実施し、その後のボランティア活動につなげるきっかけづくりができました。

また、新規に市の補助金事業で市民センターが実施した『心のバリアフリー事業』と協働し、4区の市民センター4館において、会館ではない場所で障害の理解・啓発活動を実施できました。

視聴覚障害者情報センターでは、要約筆記者養成講座および現任者のレベルアップ研修、全国統一認定試験の対策講座等を開催しました。視覚障害者のサービスについては、点字用品の販売、機器の貸出し、会館講座の紹介など、情報センターだけではなく会館全体で取り組みました。

北九州市障害者芸術文化応援センターでは、ホームページやフェイスブックにて、障害のある人の芸術文化活動の情報提供を行いました。

①運営委員会等

会館運営委員会

- ・期 日： 4月28日(木) 14:00～15:15
- ・内 容： 令和3年度事業報告、令和4年度事業計画、その他
- ・委 員： 9人(1名欠席)

あゆみの会、育成会(親の会)、視覚障害者友好協会、難聴者・中途失聴者協会、
創声会、障害福祉ボランティア協会、保健福祉局障害福祉企画課、
西部障害者福祉会館、東部障害者福祉会館

②会館利用実績報告

会館利用者数(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

・利用総人員＝ 27,631人 (前年度 19,262人)

③障害別利用者数

(人)

	肢体	視覚	言語	ろう	難聴	盲ろう	内部	知的	発達	精神	難病	計
今年度	1,257	1,044	1,741	1,431	405	268	161	659	657	503	69	8,195
前年度	763	695	1,127	986	286	194	78	375	299	254	35	5,092

④関係者別利用者数

(人)

	肢体	視覚	言語	ろう	難聴	盲ろう	内部	知的	発達	精神	難病	全障害
今年度	683	269	128	615	611	379	25	1,191	608	626	8	5,809
前年度	663	175	106	601	525	208	10	639	319	235	9	4,279

(人)

	ボランティア	計
今年度	8,484	19,436
前年度	6,401	14,170

⑤利用目的別件数

(件)

	会議	講座	研修	作業	芸術・文化・余暇	その他	計
今年度	1,046	247	295	174	133	529	2,424
前年度	735	237	228	142	49	243	1,634

⑥障害別登録利用団体数 ※東部・西部合同の登録数

	肢体	視覚	聴覚	盲ろう	言語	内部	難病	知的	発達	精神	全障害	計
今年度	19	38	28	4	7	2	8	30	14	14	70	234

⑦相談件数

(件)

	当事者				その他 (家族、関係者、ボランティア)	計
	職業	生活	制度	その他		
今年度	19	100	29	43	48	239
前年度	20	139	8	3	32	202

※令和4年度の傾向 制度や生活・仲間とのトラブルに関する相談が多かった。

⑧苦情・要望件数

0件(書面0件)

⑨見学の受け入れ

公立大学法人北九州市立大学学生等 6名

星槎国際高等学校北九州学習センター 5名

⑩入居、関係団体へのICTサポート

44件

ア 障害者社会参加支援事業

1. 社会参加講座開催事業

No.	講座等	実施日	回数	参加者(人)
1	陶芸体験教室	5月8日(日)、15日(日) 10:30~12:00	2	15 (肢4、精6、知1、聴2、 難2)
2	エクササイズ教室	5月28日(土)、6月25日(土) 10:00~11:30 13:00~14:30	2	23 (視5、肢6、知10、聴2)
3	珈琲の美味しい入れ方教室	6月11日(土)10:00~11:30	1	11 (肢5、精3、知1、聴1、 内1)
4	アフタヌーンティー教室	6月19日(日)、7月17日(日) 8月21日(日) 10:00~12:00	3	24 (肢9、精6、知6、内3)
5	韓国料理教室	6月26日(日)10:00~12:00	1	7 (肢2、精1、知2、聴1、 難1)
6	ステンドグラスクッキー教室	7月31日(日)13:30~15:30	1	6 (肢1、精1、知4)
7	高野豆腐でドライカレー教室	8月20日(土)10:00~12:00	1	5 (肢1、精1、知2、聴1)
8	料理教室	8月28日(日)、9月25日(日) 10:00~12:00	2	18 (視2、肢1、精3、知6、 聴2、難2、内2)
9	笑って動いて気分すっきりエクササイズ	10月1日(土)、11月5日(土) 10:30~12:00 13:00~14:30	2	19 (視8、肢4、精1、知5、 聴1)

10	陶芸教室(お正月の干支を作ろう)	10月2日(日) 10:00~12:00	1	7 (肢2、精2、知1、聴2)
11	ミュージックケア教室	11月12日(土) 12月10日(土) 10:30~12:00 13:00~14:30	2	24 (視7、肢6、知11)
12	軍手で来年の干支 ウサギを作ろう	12月3日(土)13:30~15:00	1	10 (肢5、知4、難1)
13	お正月 しめ縄作り教室	12月11日(日) 13:30~15:30	1	8 (肢2、精1、知4、内1)
※総参加延べ人数 177人(視覚22、肢体48、精神25、知的57、聴覚12、難聴6、内部7)				



陶芸体験教室



韓国料理教室

2. 交流事業

交流会名	実施日	回数	参加者 (人)
(1)ボッチャ交流会	7月30日(土) 14:00~16:00	1	13
(2)ふれあい広場	10月23日(日)	1	397
(3)クリスマス交流会	12月17日(土) 14:00~16:00	-	中止



ふれあい広場



ボッチャ交流会

3. 支援者養成事業

(1) ボランティア養成事業

① ボランティア養成事業【～「バリア」とはなんだろう?～】

- ・実施日: 7月23日(土) 10:00~12:00
- ・参加者: 12人
- ・共催: 障害福祉ボランティア協会
- ・目的: 「合理的配慮」について知る

時 間	内 容
10:00～10:05	オリエンテーション
10:05～10:20	「バリア」とは何だろう？ ～障害とは何だろう？～
10:20～11:05	グループディスカッション「合理的配慮って？」
11:15～11:45	車いす介助法
11:45～11:55	ボランティア活動のルールとマナーと車いす介助について
11:55～12:00	質疑・応答 閉会あいさつ

②ボランティア養成事業【聴覚に障害のある人へのボランティア入門講座】

- ・実 施 日： 9月10日(土) 10:00～12:00
- ・参 加 者： 40人
- ・共 催： 北九州市社会福祉ボランティア大学校
- ・目 的： 聴覚に障害のある人の支援について知り、ボランティア活動のきっかけづくりとする

時 間	内 容
10:00～10:05	オリエンテーション
10:05～10:50	聴覚に障害がある人の体験談
11:00～11:40	簡単な手話 手話の成り立ち 指文字 身振り・表情
11:40～12:00	ボランティアグループ紹介・まとめ(閉講式)

③心のバリアフリー事業【市民センター4区4館】

【門司区白野江市民センター】

- ・実 施 日： 10月6日(木)・11月20日(日)・12月8日(木)
- ・参 加 者： 42人・97人・20人
- ・内 容： 10月 萩湯呑作り・11月 落語「川笑一座」・12月 視覚障害者について(手引き)
- ・目 的： 心のバリアをなくし、障害のある人ない人も共に生きる地域社会の実現に向けた体験・交流

【小倉北区日明市民センター】

- ・実 施 日： 10月22日(木)・11月19日(土)・12月18日(日)
- ・参 加 者： 37人・32人・150人
- ・内 容： 10月 盲導犬ユーザーのお話・11月 手話でおしゃべりしよう
12月 障害のある人のダンス
- ・目 的： 心のバリアをなくし、障害のある人ない人も共に生きる地域社会の実現に向けた体験・交流

【若松区古前市民センター】

- ・実 施 日： 9月2日(金)・11月8日(火)・令和5年1月30日(月)
- ・参 加 者： 10人・20人・18人
- ・内 容： 9月 障害って何？・11月 バリアって何？ バリアフリーって何？
1月 疑似体験をとおして知ろう 知的障がいや発達障がいのこと
- ・目 的： 心のバリアをなくし、障害のある人ない人も共に生きる地域社会の実現に向けた体験・交流

【八幡西区本城市民センター】

- ・実 施 日： 7月5日(火)・8月30日(火)・9月27日(火)・11月29日(火)・12月2日(金)・
令和5年1月31日(火)
- ・参 加 者： 14人・15人・15人・20人・3,600人(延べ)・13人
- ・内 容： 7月・8月・9月・11月 12月にある文化祭の事業会議
12月2日(金)・3日(土)
働く障害者&障害児放課後デイサービス ふれあい文化祭～おばけやしき～
- ・目 的： 心のバリアをなくし、障害のある人ない人も共に生きる地域社会の実現に向けた体験・交流

(2) オンライン会議における情報保障に関する実証実験及び関連アプリの使い方講習会

①実証実験

Zoomなどを活用したオンライン会議や研修のスタイルは今や定番となっていますが、視覚や聴覚に障害のある人の情報保障については、多くの課題が残されています。今年度は聴覚障害(難聴)の人たちのオンライン会議参加を想定し、当事者の方にもご協力いただきながら必要な環境について検証しました。

No.	内 容	実 施 日	参加者 (人)
I	「コミュニケーション支援事業」 【実証実験】 ・ZoomとUDトークの連携 《北九州コミットの会》 立目 章氏、須藤 輝勝氏、村上 郁夫氏、仲本 篤志氏 《北九州市難聴者・中途失聴者協会》 神矢 徹石氏 (職員:松本・大久保)	6月12日(日) 10月16日(日) 11月13日(日) 12月4日(日) 令和5年 1月15日(日)	7名

②難聴者・中途失聴者対象「Zoomの使い方講座」(模擬講座)

難聴者・中途失聴者を対象に、模擬講座「Zoomの基本的な使い方」を開催し、ZoomやUDトークの字幕機能を使ってオンライン会議等に参加する実体験をしていただき、課題の検証を行いました。

No.	内 容	実 施 日	参加者 (人)
I	難聴者・中途失聴者対象 「Zoomの使い方講座」(模擬講座) 講師:須藤 輝勝 氏	令和5年2月5日(日)	10

③IT支援者対象「UDトークの使い方講習会」

障害のある人へのIT支援に関わる人を対象に、コミュニケーション支援アプリであるUDトークの使い方について講習会を開催しました。

No.	内 容	実 施 日	参加者 (人)
I	IT支援者対象「UDトークの使い方講習会」 講師:松本(職員)	令和5年2月5日(日)	13



「Zoomの使い方講座」



「UDトークの使い方講習会」

(3) 地域普及啓発講座

①講座「ヤングケアラーの現状と支援」

元ヤングケアラーを講師に迎え(Zoom登壇)、近年問題となっている「ヤングケアラー」について、その現状と必要な支援について学びました。

No.	実 施 日	回数	参加者(人)
I	5月21日(土)	I	28 (オンライン17)

②「支援者としてのメンタルヘルス研修&傾聴スキルアップ研修」

様々な現場で、障害のある人など支援が必要な人のケアにあたる支援者が、長引くコロナ禍にあっても、心の均衡を保ちながらより良い支援ができるよう、自身のメンタルヘルスについて考える機会として研修を開催しました。また、翌週には、支援者にとって欠かせない傾聴スキルについて、相手の話を「上手に聴く」とはどういうことなのかを改めて学ぶ研修を開催しました。

No.	内 容	実 施 日	参加者(人)
1	支援者としてのメンタルヘルス研修	11月19日(土)	27 (オンライン18)
2	支援者としての傾聴スキルアップ研修	11月26日(土)	39 (オンライン22)



「支援者のための傾聴スキルアップ研修」



「ヤングケアラーが大人になるまで」

③講座「ヤングケアラーが大人になるまで～きょうだい児・大人きょうだいのこと～」

年齢と共に変化していくヤングケアラー問題について、その実情や長期的支援のあり方を学び、家族や相談者への寄り添い方を考えるため、大人になったケアラー当事者を講師に迎え(Zoom登壇)講座を開催しました。

No.	実 施 日	回数	参加者(人)
1	令和5年1月8日(日)	1	24 (オンライン15)

④講座「グラフィックファシリテーションを体験しよう!」

会議やミーティングを、絵や文字、線などでリアルタイムに「見える化」するコミュニケーション手法「グラフィックファシリテーション」を学び、支援や相談場面での活用を探るための体験講座を開催しました。

No.	実 施 日	回数	参加者(人)
1	令和5年2月25日(土)	1	12



「グラフィックファシリテーションを体験しよう!」〈1〉



「グラフィックファシリテーションを体験しよう!」〈2〉

4. 情報提供事業

(1) 会館だよりの発行

・年4回、1,600部発行

(2) 障害福祉情報提供事業 () 内昨年度

・全国紙新聞切抜き掲示 1,364件(2,682 件)

(3) 障害者芸術文化情報提供事業

障害者芸術文化応援センターとして、ホームページやフェイスブックにて、障害者の芸術文化活動の情報提供を行いました。

フェイスブックでの情報提供数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
情報発信数	9	11	8	11	10	11	13	15	16	24	12	13	153

イ 障害別社会参加支援事業(視聴覚障害者情報センター、障害者社会参加推進センター)

○視聴覚障害者情報センター

(1) 北九州市立点字図書館分館事業

・図書貸し出し 点字図書=0本 ・録音図書=0本 ・CD図書=0本
 ・機器貸し出し 点字プリンター=5件 ・音訳用パソコン貸し出し=15件
 ・プライベートサービス ・点字用品販売=29件

(2) 北九州市立聴覚障害者情報センター分館事業

・手話・字幕付きDVD貸し出し=0本

1. 障害別支援者養成事業

○視聴覚障害者情報センター

(1) 要約筆記者養成事業

	内 容	実 施 日	回数	受講者 (人)	修了者 (人)
1	要約筆記者養成講座	手書き なし			
		パソコン 5月20日(金) ～令和5年1月13日(金)	44	7	4
2	要約筆記者認定試験対策講座 (パソコン)	10月14日(金)、 ～令和5年2月3日(金)	9	4	

(2) 研修事業

現任要約筆記者のさらなるレベルアップを目指し、各専門講師に依頼し、研修を実施。

	内 容	実 施 日	回数	参加者 (人)
1	要約筆記者スキルアップ研修 (新人研修含む)	4月22日(金) ～令和5年2月4日(土)	15	50 (延べ)
2	要約筆記者養成講座指導者の スキルアップ研修	5月30日(月)～10月19日(水)	8	16 (延べ)
3	3派遣合同研修会 「人間関係を損なわずに伝える方法」	令和5年3月19日(土)	1	6 (オンライン 5)



要約筆記者養成講座



スキルアップ研修

2. 障害別生活支援事業

○視聴覚障害者情報センター

(1) 要約筆記者派遣事業

登録者数	当事者	115人
	筆記者	31人
派遣数	件数	72件
	人数	183人

派遣種類	OHC	16件
	パソコン	18件
	ノート	38件

○障害者社会参加推進センター

(1) 自立生活講座(外出プログラム)

外出機会の少ない障害のある人が街や話題の場所に出かけていくことで、社会参加や制度利用のきっかけを作ることを目的に企画しました。また、障害のある参加者が障害のない参加者と協力し合い、公共交通機関を利用して外出機会を増やしていくことで、誰もが参加しやすい社会づくりの視点を育てることを狙いとして実施しました。

No.	内 容	実 施 日	参加者(人)
1	移動動物園(西日本総合展示場)、ショッピング ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	7月30日(土)	
2	『到津の森公園でハイキング気分』	9月24日(土)	11 身体1、知的1、重複4、 障害なし5
3	『JRに乗って新プラネタリウムへ』	12月10日(土)	16 身体2、知的1、精神1、 重複5、障害なし7
4	『門司港でハンドメイドマルシェを楽しもう』	令和5年 3月25日(土)	20 身体2、知的2、重複7、 障害なし9

※実施団体: 北九州自立生活センター

(2) 視覚障害者対象「日商パソコン検定」実施

視覚障害者がパソコン技術(データ活用2・3級、文書作成2・3級)の資格を取得し、自身のスキルアップが図れるよう、試験会場を提供し、申請に応じて検定試験を実施しました。

No.	内 容	実 施 日	受験者(人)
1	データ活用2級	7月23日(土) 10月1日(土) 令和5年1月21日(土)	3

2	データ活用3級	11月6日(日)	1
3	文書作成3級	令和5年1月13日(金)、 18日(水)	2

(3)音声機能障害者発声訓練事業

喉頭摘出により声を失った人に対して、発声訓練を行い、社会復帰を支援することを目的として事業を実施しました。

No.	実施日	回数	参加者 (人)
1	4月6日(水)～令和5年3月29日(水)	46	1028 (延べ)

※実施団体:北九州創声会

(4)発声訓練指導者養成事業

神戸市の喉頭摘出当事者団体「神鈴会(しんれいかい)」の発声訓練を視察し、シャント発声を含めた発声訓練方法など北九州創声会との情報交換を行いました。

No.	実施日	回数	参加者 (人)
1	令和5年3月1日(水)～2日(木)	1	5

※実施団体:北九州創声会

(5)オストメイト社会適応訓練事業

オストメイト(人工肛門、人工膀胱造設者)の方やその家族を対象に、情報提供や意見交換、その場での相談を行う講習会を開催しました。今年度より複数の病院より、4名の皮膚・排泄ケア認定看護師が講習会を担当することとなり、内容も充実したものとなりました。

No.	実施日	回数	参加者 (人)
1	5月22日(日)～令和5年3月26日(日)	6	99



オストメイト講習会(意見・情報交換)



オストメイト講習会『入浴時のストーマケアのポイント』

(6)障害者相談員研修会

①障害者相談員研修会「安心防災ワークショップ」

頻発する大規模災害への必要な備えについて、障害者相談員がそれぞれの障害を踏まえて必要なことを確認し、当事者として、また支援者として自助・共助・公助について考える研修会を開催しました。

No.	実施日	回数	参加者(人)
1	6月19日(日)	1	20 (オンライン10)



「安心防災ワークショップ」



「障害平等研修」

②障害者相談員研修会「障害平等研修～We The 15(ウィザ フィフティーン)」

障害のある人たちの様々な相談事に対応する障害者相談員に、改めて「障害の社会モデル」の考え方、障害者差別解消法での「合理的配慮」について理解を促すための研修会を開催しました。

No.	実施日	回数	参加者(人)
1	令和5年3月11日(土)	1	12

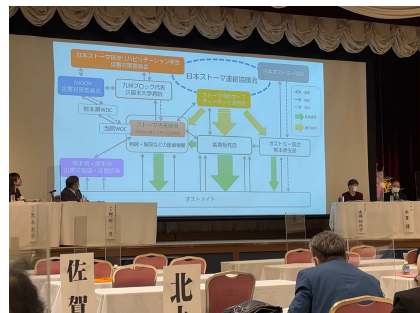
③九州ブロック身体障害者相談員研修会(鹿児島大会)

通常は九身連福祉大会で行われる表彰式を加えた式典と、講演・シンポジウムで構成された九州ブロック身体障害者相談員研修会に、被表彰者も含め、障害団体の代表者と共に参加しました。

No.	実施日	参加者(人)
1	11月18日(金)	9



九州ブロック身体障害者相談員研修会<1>



九州ブロック身体障害者相談員研修会<2>

北九州市立西部障害者福祉会館

総 括

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ワクチン接種の進展などの効果により、感染はようやく落ち着き始め令和4年度の会館利用人数は、昨年より約6,000人増の17,830人と緩やかに回復傾向に向かっています。

障害のある人たちの社会参加、生きがい支援を目的とした会館講座は、定員を減らし、検温や手指消毒、換気等の感染症対策を講じ19講座を開講することができました。

コロナ禍で加速したデジタル化の流れを取り込んだオンラインでの講演会は、ハイブリッド形式で開催し、多くの障害のある人や支援者に参加していただきました。

当事者が主体となって、障害のある人となない人が、共に交流し学ぶことができるサークルが5団体立ち上がり、障害のある人たちが定期的に集まり、情報・交流を深める居場所ができました。

交流事業では、毎年11月に開催している文化祭「であい・ゆめ広場」を、コムシティオープン10周年記念イベント「ひとみらいフェスタ」と同日に「サークル体験会」という新しいカタチで実施し、当日はコムシティの他の施設利用者も含めて、親子連れ、友人との参加など、多くの市民の方に参加いただき、障害福祉への理解を深めてもらうことができました。作品展に関しては、社会福祉協議会主催の「ココロ・ツナグ作品展」に出展し、サークルや会館受講生の皆さんの作品を多くの市民の方に見ていただき、活動発表と自己の自信につなげる場とすることができました。

支援者養成事業では、北九州市民カレッジにおいて、市民の方に障害のある人がどんなことで困っているのか、どんな支援が必要とされているのかを学んでいただき、障害の理解を深めるとともにボランティア活動のきっかけとなりました。また、ふれあい出前講演では、くろさき教育支援室の中学生を対象に障害のある人のことを知りどんなバリアがあるのか、みんなが暮らしやすい社会について考えるきっかけを作ることができました。

①運営委員会等

会館運営委員会

・期 日： 4月20日(木) 13:30～15:00

・内 容： 令和3年度事業報告、令和4年度事業計画(案)、その他

・委 員： 9人(委員名簿順)

視覚障害者友好協会、聴覚障害者協会、障害福祉ボランティア協会、あゆみの会
手をつなぐ育成会(法人)、ひとみらいプレイス事務局、保健福祉局障害福祉企画課
東部障害者福祉会館、西部障害者福祉会館

②会館利用実績報告

会館利用者数(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

・利用総人員＝17,830人(前年度11,872人)

③障害別利用者数

(人)

	肢体	視覚	ろう	難聴	盲ろう	言語	内部	難病	知的	発達	精神	計
今年度	1,106	857	1,843	172	41	69	293	28	1,324	242	723	6,698
前年度	925	494	1,265	134	23	38	230	0	812	165	521	4,607

④関係者別利用者数

(人)

	肢体	視覚	ろう	難聴	盲ろう	言語	内部	難病	知的	発達	精神	全障害
今年度	255	750	1,251	29	104	33	0	1	560	469	258	2,460
前年度	187	538	955	39	29	19	1	8	327	273	279	1,589

(人)

	ボランティア	計
今年度	4,962	11,132
前年度	3,021	7,265

⑤利用目的別件数

(件)

	会議	講座	研修	作業	芸術・文化・余暇	その他	計
今年度	324	277	240	342	257	302	1,742
前年度	257	207	154	316	189	117	1,240

⑥障害別登録利用団体数 *東部・西部合同の登録数

(団体)

	肢体	視覚	聴覚	盲ろう	言語	内部	難病	知的	発達	精神	全障害	計
今年度	19	38	28	4	7	2	8	30	14	14	70	234
前年度	19	37	27	4	7	2	6	28	14	12	64	220

⑦相談件数

(件)

	当事者				その他 (家族、関係者、ボランティア)	計
	職業	生活	制度	その他		
今年度	17	19	4	32	44	116
前年度	4	22	2	13	40	81

*令和4年度の傾向

臨時休館や時短がなくなり、来館者数が徐々に増えたことに伴い相談件数も若干増えている。依然とコロナ禍で、当事者や家族からの心身のストレスや体調不良を訴える相談内容が多く、西部会館で活動しているサークルの紹介や各関係機関につないで対応した。

⑧苦情・要望件数

0件(口頭 0件、書面 0件)

ア 障害者社会参加支援事業

1. 社会参加講座開催事業

No.	講座名		実施日	回数	参加者 (人)
1	がま口作り講座	新	6月3日(金) 10:00~12:00	1	7 (肢5,聴1,精1)
2	バスガイドさんと旅気分	新	7月14日(木) 13:30~15:00	1	15 (肢7,内1,聴1 難聴1,視3,知2)
3	フルーツカッティング		8月4日(木) 10:30~12:30 13:30~15:30	2	16 (肢10,聴2,精2 知2)
4	タッセル講座	新	8月5日(金) 10:00~12:00	1	9 (肢6,聴1,精2)
5	折り紙キルト講座	新	9月2日、9日、16日 毎週金曜日 10:00~12:00	3	29 (肢20,聴3,精3 知3)
6	楽しく学ぶハッピーカラーレッスン		6月6日~10月3日 毎月月曜日 13:30~15:30	5	43 (肢5,視9,聴5 難聴3,精16,発5)
7	脳が喜ぶ!心が笑う!臨床美術		5月22日~9月25日 毎月日曜日 13:30~15:30	5	34 (肢4,精10,知18 発2)
8	健康そーらん	新	6月11日~10月8日 毎月土曜日 13:30~15:00	5	53 (肢14,視10,聴5 内2,知22)

No.	講 座 名		実 施 日	回数	参加者 (人)
9	クレイクラフト講座(粘土細工)		10月22日、29日 毎週土曜日 13:30~15:30	2	18 (肢10,視2,聴2 知2,発2)
10	美味しいコーヒーの淹れ方	新	11月14日(月) 13:30~15:30	1	13 (肢10,聴1,精2)
11	自分で癒そうアロマヘッドマッサージ	新	11月24日(木) 13:30~15:30	1	12 (肢6,精4,発2)
12	落水洋介さん講演会	新	11月27日(日) 13:30~15:30	1	45(会場29 オンライン16) (肢6,視5,聴1 精2,発1,難病1 一般29)
13	Xmasフルーツカッティング	新	12月10日(土) 10:30~12:30 13:30~15:30	2	14 (肢8,難聴2 精2,知2)
14	Xmasリース作り	新	12月17日(土) 13:30~15:30	1	8 (肢5,聴1 難聴1,知1)
15	ビーズ教室	新	令和5年1月14日(土) 13:30~15:30	1	6 (肢2,視1,聴1 難聴1,知1)
16	ペーパークラフト~フレームをバレンタイン風にアレンジ	新	令和5年1月21日(土) 13:30~15:30	1	9 (肢3,視1,聴2 難聴1,精1,知1)
17	バルーンアート	新	令和5年1月28日(土) 13:30~15:30	1	7 (肢5,聴1,知1)
18	健康講座×体操~げんき塾~	新	10月23日~令和5年1月29日 毎月日曜日 10:00~12:00	4	40 (肢21,視17,精2)
19	林先生のスイーツ講座 ①練りきりを手作りしましょう	新	5月8日(日) 10:30~12:30 13:30~15:30	2	15 (肢4,聴1,難聴2 知3,精4,発1)
	②ブルーベリーのアチーズケーキ作り	新	6月5日(日) 10:30~12:30 13:30~15:30	2	16 (肢8,知4,精1, 発3)
	③アメリカンマフィンを作ってみよう	新	11月6日(日) 10:30~12:30 13:30~15:30	2	15 (肢2,聴2,難聴1 知4,精1,発5)
	④Xmasケーキ作り	新	12月4日(日) 10:30~12:30 13:30~15:30	2	15 (肢2,精3,知9 発1)
	⑤レーズンバターサンド	新	令和5年1月8日(日) 10:30~12:30 13:30~15:30	2	15 (肢6,難聴1,精3 知4,発1)
	⑥チョコレートケーキ	新	令和5年2月5日(日) 10:30~12:30 13:30~15:30	2	15 (肢6,視1,精4 知3,発1)
※総参加延べ人数469人(肢175、視49、聴30、難聴13、内 3、知82、発24、精63、難病1、一般29)					

◆会館講座の様子



健康講座×体操～げんき塾～



バルーンアート



落水洋介さん講演会



Xmasフルーツカッティング

2. 交流事業

交流会名	実施日	回数	参加者 (人)
(1)ちょこっとサークル体験会 ※1	10月15日(土) 10月16日(日) 11:00～14:00	2	15日(体験者107) 16日(体験者171)
(2)春の交流会 『春!春!春!』楽しく笑顔の桜咲く	令和5年3月5日(日) 13:30～15:30	1	22 (肢7,視3,聴1,精4 知6,難病1)

西部障害者福社会館の文化祭「であい・ゆめ広場」の代替事業として「ちょこっとサークル体験会」を、コムシティ10周年記念イベント「ひとみらいフェスタ」と同時開催しました。

多くの市民の方が各サークルの体験会に参加し、障害福祉への理解を深めてもらうイベントとなりました。

また、毎年11月に、ひとみらいプレイス事務局が開催する「ひとみらい文化祭」は、会場となるコムシティ3階美術館が新型コロナワクチン接種会場で使用できなかったため、社会福祉協議会主催の「ココロ・ツナグ作品展」に、各サークルの皆さんの絵画や切り絵、会館受講生の作品を展示し、活動発表することができました。

(1)ちょこっとサークル体験会



永吉ギタークラブ「一本指ギター奏法」



キャリアサポートクラブ「絵画・工作」



ビューティアップサークル「ハンドケア」



コムシティ3Bサークル「3B体操」

※Ⅰ ちょこっとサークル体験会の詳細

No.	団体名	内容	体験者(人)	スタッフ(人)
15 日 (土)	北九州明友会	社交ダンス	15	5
	切り絵サークルかみきりむし	切り絵	20	6
	点訳サークルわかば	点訳	10	8
	りんしょう美術きたきゅう	臨床美術	33	13
	永吉ギタークラブ	一本指ギター奏法	10	4
	コムシティ3Bサークル	3B体操	19	6
16 日 (日)	キャリアサポートクラブ	絵画・工作	15	4
	新虹の会&八幡西聴障協	手話	52	11
	ビューティアップサークル	ハンドケア	21	1
	Needsうんどう部	健康体操	38	4
	聖幻会	日本舞踊	45	12
			278	74

(2)春の交流会



前半「花咲かそゲーム」



後半「音楽レクリエーション」

(3)ココロ・ツナグ作品展(年長者障害者作品展)

実施期間: 9月20日(火)~24日(土) 9:00~17:00(※22日のみ19:00まで)

展示会場: 北九州市立美術館黒崎市民ギャラリー(コムシティ3階)

出展団体: 切り絵サークル かみきりむし 「切り絵作品」

キャリアサポートクラブ 「絵画、書、リサイクルアート」

会館講座受講生の作品 「臨床美術の粘土細工/土偶」



キャリアサポートクラブ
「絵画、書、リサイクルアート」



会館講座受講生の作品
「臨床美術の粘土細工/土偶」

3. 支援者養成事業

(1) 令和4年度後期「北九州市民カレッジ」

①「障害のある人もない人もみんなが笑顔に～できることからボランティア～」

実施日： 令和5年1月18日～2月22日(水)13:30～15:30 全5回

参加者： 17人(延べ82人)

共催： 北九州市障害福祉ボランティア協会 / 八幡西生涯学習総合センター

目的： 障害のある人がどんなことで困っているのか、どんな支援が必要とされているのか各障害別の講師より、支援に必要な考え方や支援技術を学び、障害の理解を深めるとともにボランティア活動のきっかけを作ることを目的に開催。

開催地： 北九州市立西部障害者福祉会館



講義の様子



車椅子介助体験

②「視覚に障害のある人の外出支援ボランティア体験講座」

実施日： 令和5年2月18日(土)10:00～15:00 全1回

参加者： 19人

共催： 北九州市障害福祉ボランティア協会 / ガイドボランティアサークル ゆう・あい

開催地： 北九州市立西部障害者福祉会館



歩行ガイド体験



階段ガイド体験

(2)ふれあい出前講演「心のバリアフリー～手と手でコミュニケーション」

- 内 容： 西部障害者福祉会館の施設紹介と取組みについて
視覚障害者の生活、接し方、盲導犬について及び点字体験
- 実 施 日： 令和5年1月16日(月)9:30～12:00
- 参 加 者： 20人(教育支援室に通う中学生と先生)
- 目 的： 視聴覚障害者情報提供施設として、多くの市民の方に視聴覚障害者への正しい理解を学んでいただき、障害のある人のことを知りどんなバリアがあるのか、みんなが暮らしやすい、社会について考えるきっかけを作る。
- 開 催 地： くらさき教育支援室(コムシティ地下1階)



福祉会館の施設紹介



盲導犬についての講義

4. 情報提供事業

(1)会館だよりの発行

年4回、各1,600部発行

5. その他の事業

(1)コムシティ防災訓練

コムシティ合同防火・防災訓練 消防法施行規制による年2回の合同防火・防災訓練を実施。

実 施 日： 【第1回】11月10日(木)10:10～10:30 13:30～15:00

内 容： 火災発生時にコムシティ来館者を安全かつ迅速に避難誘導できるよう、全館合同で防火・防災訓練を実施。地区隊⑤の役割は、視覚障害者(盲導犬)の救護応援要請と実際の避難階段を利用しての避難誘導を担当

その他、防災講習会、水消火器消火訓練、消火栓による放水訓練あり

実 施 日： 【第2回】令和5年3月2日(木)10:10～10:15

内 容： 北部九州で震度5強の地震が発生したと想定して、地震発生時の初期対応訓練(シェイクアウト訓練)を実施

参 加： コムシティ全自衛消防隊(13地区隊) 西部障害者福祉会館＝地区隊⑤

北九州市立点字図書館

ウ 視覚障害者社会参加支援事業

総 括

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、貸出業務や音訳・点訳図書の製作については、ほぼ通常通りに行うことができ、毎年5月に開講する音訳・点訳ボランティア養成講座も日程通りに進めることができました。

3年ぶりに利用者・ボランティア・職員による三者交流会を開催し、子どもの館子どもホールにて、沖縄音楽演奏や体操で楽しい時間を過ごすことができました。

また、視覚に障害のある人の社会生活に必要な知識習得を目的とした「視覚障害者生活教室」は、福祉会館の利用条件の緩和等により、昨年度に比べ回数と参加人数が増え、充実した活動ができました。

読書バリアフリー法に係る担当者連絡会は、昨年に引き続き中央図書館と連携を進めるため、双方の業務を共有し、次年度に向けて障害のある人の読書環境と支援方法等について協議ができました。

ICT支援については、録音図書再生機「プレクストーク」の操作説明会を3回に増やし、初心者の方とある程度使用されている方別々に実施することにより、個人の状況に応じた読書環境の向上を図ることができました。

1. 製作および貸出事業

①登録者数

	前年度	新規	除籍	今年度
男性	336	3	9	330
女性	288	16	8	296
合計	624	19	17	626

②利用実績

	点字図書館											
	点字図書				テープ図書				CD図書			
	利用者	1日平均	タイトル数	貸出冊数	利用者	1日平均	タイトル数	貸出巻数	利用者	1日平均	タイトル数	貸出巻数
今年度	1,384	4.8	1,674	4,826	103	0.4	116	743	29,089	100.3	53,054	53,060
前年度	1,510	5.2	1,816	5,909	118	0.4	137	867	28,935	99.1	52,167	52,172

③点字図書館蔵書数

		点字図書				テープ図書				CD図書(デージーのみ)			
前年度蔵書	タイトル合計	3,280				3,353				5,336			
	巻(冊)数計	11,407				15,935				5,337			
今年度受入(+)		自館製作	寄贈	購入	他館複製	自館製作	寄贈	購入	他館複製	自館製作	寄贈	購入	他館複製
	タイトル	22	0	1	0	0	0	0	0	36	2	0	0
	巻(冊)数	73	0	1	0	0	0	0	0	36	2	0	0
	受入タイトル計	23				0				38			
	受入巻(冊)計	74				0				38			
今年度除籍(-)		自館製作	寄贈	購入	他館複製	自館製作	寄贈	購入	他館複製	自館製作	寄贈	購入	他館複製
	タイトル	7	1	2	0	2	0	0	0	2	18	0	0
	巻(冊)数	27	8	8	0	13	0	0	0	2	18	0	0
	除籍タイトル計	10				2				20			
	除籍巻(冊)計	43				13				20			
今年度蔵書	タイトル合計	3,293				3,351				5,354			
	巻(冊)計	11,438				15,922				5,355			

④分類別点字図書・録音図書製作数

分類		0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	計
点字 図書	タイトル	1	1	0	3	2	1	1	1	1	12	23
	冊数	2	2	0	6	4	2	3	2	2	51	74
CD 図書	タイトル	1	3	2	3	1	0	2	1	1	22	36
	巻数	1	3	2	3	1	0	2	1	1	22	36

2. 支援者養成及び研修事業

No.	内 容	実 施 日	回数	参加者 (人) (延べ)
1	音訳ボランティア養成講座	5月6日～8月19日 (概ね毎週金曜日)	15	10 (135)
2	音訳ボランティアステップアップ講座	9月16日～9月30日 (概ね毎週金曜日)	3	10 (30)
3	音訳ボランティア中級講座	11月4日～12月2日 (概ね毎週金曜日)	5	5 (25)
4	音訳ボランティア上級講座	1月27日～2月17日 (概ね毎週金曜日)	4	9 (36)
5	音訳リーダー連絡会	4月15日(金)、6月17日(金)、 8月19日(金)、 令和5年2月24日(金)	4	12 (47)
6	「かるかる」デイジー版製作 ボランティア連絡会	令和5年3月17日(金)	1	7
7	「わたしの本屋さん」製作ボランティア 連絡会	令和5年3月17日(金)	1	9
8	音訳図書校正ボランティア連絡会	6月13日(月)、10月3日(月)、 令和5年2月13日(月)	3	11 (19)
9	点訳ボランティア養成講座	5月12日～8月25日 (概ね毎週木曜日)	16	7 (99)
10	点訳校正ボランティア連絡会	6月18日(土)、 令和5年2月25日(土) ※10月 書面開催	2	19
11	点訳ボランティアスキルアップ講座	10月6日、10月20日、10月27日、 11月2日、11月10日、11月17日 (概ね毎週木曜)	6	6 (36)
12	点訳者/蔵書点訳者登録試験	令和5年1月15日(日)	1	4
13	点字図書館登録音訳者 登録試験<1>	4月～7月	1	7
14	点字図書館登録音訳者 登録試験<2>	9月～3月	1	6

3.生活支援事業

No.	内 容	実 施 日	回数	参加者 (人)
1	視覚障害者生活教室	6月～令和5年2月	18	294 (延べ)



2-1
音訳ボランティア養成講座



2-9
点訳ボランティア養成講座



3-1 視覚障害者生活教室
澤田理絵コンサート

4. 情報提供事業

No.	内 容	実 施 日	回数	備考
1	完成図書情報の発信事業 わたしの本屋さん新刊案内	毎月	12	点字 15人 デージー 30人
2	完成図書情報の発信事業 九視情協録音図書案内	毎月	12	デージー 20人
3	「かるかる」デージー版発行事業	隔月	6	利用者7人
4	対面リーディングサービス	未実施	0	利用者0人
5	プレクストーク操作説明会	6月19日(日)、10月30日 (日)、令和5年3月5日(日)	3	利用者 8人、関 係者1人(延べ)
6	点字図書館だより発行	5月20日(金)、9月21日(水)、 令和5年1月20日(金)	3	墨字 102人 点字 78人 テープ 30人 デージー 168人
7	機器の貸出(PTNI・2・3)	随時	5	5人
8	ICT相談	随時	29	利用者 15人 関係者 2人
9	点字即時ニュースの発行	月曜～金曜毎日発行 [火曜分は水曜に発送]	/	点字 6人 配信 15人
10	プライベート製作	随時		音訳 8件 点訳 2件 (墨訳含む)
11	読書バリアフリー法に係る公共図書館・ 点字図書館担当者連絡会	6月30日(木)、7月21日(木)、 11月30日(水)、1月27日(金)	4	参加者 28人 (延べ)

5. 交流事業

内 容	実施日	回数	参加者 (人)
(1)オーブンブレイルライブラリー	8月21日(日)	1	22
(2)交流会	12月4日(日)	1	51

6. その他関連事業

- ・日常生活用品の販売(随時)
- ・関係機関との協力



5-1 オーブンブレイルライブラリー



5-2 交流会

北九州市立聴覚障害者情報センター

エ 聴覚障害者社会参加支援事業

総 括

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に努め、検温、マスク着用、手指消毒等、さまざまな感染対策をとりながら事業を実施しました。

情報提供事業は、聴覚障害者支援セミナー、コミュニケーションワークショップを今年度も開催し、聴覚障害福祉の推進と啓発を行いました。中でも、コミュニケーションワークショップは、昨年から引き続き「コーダ(CODA:Children Of Deaf Adults)」をテーマとして開催、今回は講演だけでなくグループワークも実施し、参加者にも大変好評でした。それ以外に、健康に関する講演会なども開催しました。

ビデオライブラリー事業は、「電話リレーサービス」についての内容を分かりやすく説明した動画をYouTubeで配信、貸出用DVDも制作しました。巡回ライブラリーは、各学校とも日程を調整しながら、感染対策に十分気を付け、予定していた回数を実施することができました。

手話通訳派遣事業は、昨年同様、引き続き感染対策をとりながら派遣を行いました。

盲ろう者通訳・ガイドヘルパー派遣事業も、手話通訳派遣同様、感染対策を十分にとりながら派遣を行いました。盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの養成については、レベルアップ講座の内容を見直し充実を図りました。

出前講座については、市民センターなどからの依頼が増え、地域で活動する大人から子どもまで、多くの方に聴覚障害者の理解を深めてもらうことができました。

事業報告

1. 制作および貸出事業

①登録者数

	男性	女性	計
今年度	217	444	662
前年度	214	440	654

(※うち企業団体の代表1名)

②利用実績 ※カッコ=(前年度)

利用人数	西部	97
		(60)
	東部	0
		0
	合計	97
		(60)

③貸出本数 ※カッコ=(前年度)

貸出本数 (DVD /BD)	西部	239
		(166)
	東部	0
		0
	合計	239
		(166)

④ビデオ・DVD保有数/使用期間満了作品

	当年度	前年度
タイトル数	2,528	2,687
巻 数	3,833	4,134

当年度使用期間満了作品(消却処分)			
VHS	193	DVD	3
VHS	369	DVD	5

⑤映像ライブラリー事業の本数

提供元	当年度	前年度
字幕制作共同事業	73	41
NHN厚生文化事業団番組	8	11
合 計	81	52

⑥字幕(手話)付き自主制作事業

制作種類	制作数		番組名	時間 (分)
	DVD	BD		
著作権処理番組	1	0	名探偵コナン 笑顔を消したアイドル	25
著作権処理番組	1	0	名探偵コナン 呪いのミュージアム	25
著作権処理番組	1	0	ちびまる子ちゃん 「まる子、一人暮らしにあこがれる」の巻 「まる子、新しい鬼ごっこを考える」の巻	25
著作権処理番組	1	0	ちびまる子ちゃん 「ヒロシの忘れ物」の巻 「憧れのわんこそば」の巻	25
自主制作	1	0	サークルちょこっと体験会(PR)	10
自主制作	4	0	2021電話リレーサービスシリーズ4 「遠隔手話通訳」と「電話リレーサービス」との違い【医療	8
自主制作	2	0	第14回聴覚障害者支援セミナー 「コロナ禍におけるコミュニケーションと心のケア」(記録)	90
自主制作	7	0	IPTV「目で聴くテレビ」放送 「映画の街 北九州ロケ地・クイズと観光スポット Part3」	14
計	18	0		222

⑦巡回ライブラリー事業

場 所	実施回数	貸出延べ数	新規登録
福岡県立小倉聴覚特別支援学校	2	28	2
北九州市立浅川小学校 耳の教室	2	6	0
北九州市立八幡小学校 耳の教室	2	8	0
北九州市立松ヶ江南小学校 耳の教室	2	16	0
北九州市立小倉中央小学校 耳の教室	2	28	1

2. 支援者養成および研修事業

(1) 盲ろう者通訳ガイドヘルパー養成講座

内 容	実 施 日	回数	参加者 (人)
レベルアップ 研修	6月1日(水)／6月15日(水)／6月29日(水)／7月13日(水) 7月28日(木)／8月10日(水)／8月24日(水)／9月7日(水) 9月22日(木)／9月29日(木)	10回	9 (延べ71)



レベルアップ研修<1>



レベルアップ研修<2>



レベルアップ研修<3>

(2)通訳者合同研修会

No.	内 容	実 施 日	場 所	参加者 (人)
1	人間関係を損なわずに伝える方法	令和5年 3月19日(土)	西部障害者福社会館	会場12 (オンライン5)

(3)市長定例会見通訳担当者研修会

No.	内 容	実 施 日	場 所	参加者 (人)
1	「テレビジョン放送における手話通訳育成に関する研修会」講義編～YouTube～	12月1日(木) ～令和5年 3月31日(木)	オンライン学習	10
2	「テレビジョン放送における手話通訳育成に関する研修会」技術指導編～Zoom～	10月8日(土) 9日(日)	西部障害者福社会館	1

3. 生活支援事業

(1)手話通訳者派遣事業

聴覚障害者登録数	392人
派遣件数	2,737件

※当年度で名簿整理をした為、登録者数減
前年度446人→今年度392人 54人減

(2)盲ろう者通訳ガイドヘルパー派遣事業

登録者(ヘルパー)		27人
登録者(盲ろう者)		13人
派遣数	件数	277件
	人数	297人

(3)盲ろう者社会参加講座

No.	内 容	実 施 日	場 所	参加者 (人)
1	健康診断とがん検診を知ろう!	令和5年 2月9日(木)	西部障害者福社会館	4

4. 情報提供事業

(1)聴覚障害者情報提供事業

No.	内 容	実 施 日	場 所	参加者 (人)
1	健康診断やがん検診を受けましょう!	12月12日(月)	西部障害者福社会館	10
2	第14回聴覚障害者支援セミナー	9月10日(土)	西部障害者福社会館	45 (オンライン16)
3	聴覚障害児(者)のための コミュニケーションワークショップ	令和5年 2月5日(日)	西部障害者福社会館	31



支援セミナー



健康診断やがん検診を受けましょう!



ワークショップ

(2)機関紙発行事業(北Qみらい)

号数	通巻78号	通巻79号	通巻80号	通巻81号
発行月	4月15日	7月15日	10月15日	1月15日
部数	300部			



通巻78号



通巻79号



通巻80号



通巻81号

(3)ストリーミング配信事業

No.	タイトル	配信	時間
1	YouTube 2021電話リレーサービスシリーズ4 「遠隔手話通訳」と「電話リレーサービス」の違い【医療編】	7月24日(日)	8分31秒
2	YouTube IPTV「目で聴くテレビ」放送 「映画の街 北九州ロケ地・クイズと観光スポット Part3」	令和5年 3月9日(木)	14分36秒
計			36分33秒

5. 交流事業

(1)聴覚障害者情報センターのつどい

No.	内 容	実施日	場 所	参加者 (人)
1	2022 聴覚障害者情報センターのつどい	8月7日(日)	西部障害者福祉会館	26



受付



手話で自己紹介と質問をする



団体紹介の映像上映

(2)盲ろう者交流会開催事業

No.	内 容	実施日	場 所	参加者 (人)
1	春のバスハイク交流会	5月30日(月)	北九州市立 農事センター	26

(3)出前講座

No.	内 容	実 施 日	場 所	参加者 (人)
1	聞こえない方との コミュニケーションの取り方	6月9日(木)	北九州市立年長者 研修大学周望学舎	9
2	聞こえないって何だろう？ どのような生活をしているかな？	8月6日(土)	ウェルとばた	16
3	聞こえないって何だろう？ どのような生活をしているかな？	10月17日(月)	北九州市立 黒崎中央小学校	90
4	ともに働くために ～聴覚障害の特性と配慮～	11月28日(月)	(株)アステック入江 FM事業部八幡工場	22
5	心のバリアフリー 聴覚障害のある人の理解	令和5年 1月20日(金)	かねだ教育支援室	30
6	聴覚障害の人はどんなことに困っている のでしょうか？	令和5年 2月8日(水)	八幡西生涯学習 総合センター	19
7	手話を通して多くの人とつながろう！ ～心のバリアフリー～	令和5年 2月10日(金)	香月西部市民 サブセンター	20
8	聞こえない世界 ～ろうあ運動と実績・ろう文化～	令和5年 2月15日(水)	小倉北生涯学習 総合センター	30
9	おたすけマン活動勉強会 聴覚障害について	令和5年 3月4日(土)	北九州市立 北小倉市民センター	20

6. 字幕制作環境整備事業

主な整備した機器及びソフト

編集用パソコン、編集ソフトEDIUS（エディウス）、ボランティア入力字幕を動画に挿入する為の変換ソフト等



今回、整備したパソコンや周辺機器



7. 遠隔手話通訳モデル事業

聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者（以下、聴覚障害者等）が、区役所の窓口において相談や申請手続き等を行う際に、手話通訳による意思疎通支援が必要である旨の申出があった場合に、タブレット端末を使用し、遠隔で手話通訳を実施しました。

実施期間等 令和5年1月4日から3月31日まで（平日（火曜日を除く）の8時30分から17時まで）

実施場所 八幡西区役所 保健福祉課窓口 等

実施状況 期間中に計6件の遠隔手話通訳を実施

オ 貸し部屋支援事業

障害のある人たちやその支援者、関係者が障害福祉の向上を目的とした会議、研修等のために使用する部屋の貸し出しを行いました。

Ⅲ 収益目的事業

【収益事業Ⅰ】点字・声の市政だより等作成事業

総括

行政からの依頼により、市政だよりや市議会だより等、北九州市が発行する刊行物等の点訳・音訳版を製作、発行しました。

また、公的な通知書類やその他お知らせの点訳作業等を行いました。

種 類		部 数				
1 市政だより、市議会だより等		発行回数	点字版	カセット版	CD版	テキスト版
市政だより		24	60	16	99	13
市議会だより		4	61	16	97	8
ていたんプレス		3	64	18	101	15
人権啓発情報紙		1	71	16	100	
2 その他		発行回数	点字版	カセット版	CD版	テキスト版
障害福祉ガイド(令和4年度版)視覚障害者版		1	35		35	データ
3 その他(点字版)		件数	部数			
特定健診受診券発送にかかるとの説明文等	(説明文)	1	60			
	(シール)	2	120			
採用選考案内		1	40			
使用水量のお知らせ票		1	100			
市営住宅減免点字通知文		2	2			
新型コロナワクチン接種券等配布における点字	(説明文)	1	180			
	(シール)	2	360			
新型コロナワクチン4回目接種券の事前申請お知らせにおける点字	(説明文)	1	20			
	(シール)	1	20			
新型コロナワクチン接種券等配布における点字	(説明文)	1	180			
	(シール)	2	360			
選挙入場整理券貼付用点字シール		1	720			
選挙投票用紙貼付用点字シール		1	3,096			
北九州市長選挙の点字氏名掲示		7	565			

・日常生活用品の販売(随時)

視覚に障害のある人が日常的によく使用する点字用紙、タックシール等を販売しました。

Ⅳ その他事業

【その他事業Ⅰ】地域障害者団体支援事業

(1)当事者団体自主企画事業支援

当事者団体の主催する交流や研修事業の開催支援を行いました。

- ・各区分での事業 2団体による開催
- ・障害別団体での事業 7団体による開催

(2)障害別全国組織及び九州地区組織開催の福祉大会参加及び開催支援

- ・第54回九州盲女性指導者研修会(北九州市) あいず主催

(3)障害者スポーツ参加支援

各種スポーツへの参加を通じて他団体との交流、情報交換が図れるよう、大会参加支援を行いました。

	内 容	実施日	参加者 (人)	会 場
1	第15回九州身体障害者 グラウンドゴルフ大会	11月11日(金)	15	鹿児島県

Ⅴ 他団体連携事業

北九州市の障害福祉にかかる諸問題について、要望、課題検討などの活動を行う関係団体との連携に努めました。

(1)北九州市障害福祉団体連絡協議会

常任委員団体として組織運営に関わるなど、障団連の各種事業に参画しました。

また、まちづくりネットワークプロジェクトの世話人団体として運営に関わる他、定例会議やバリアフリーにかかる市との協議、道路・建造物などの点検活動に参加しました。

(2)北九州市障害福祉情報センター

イベント情報や関係機関・団体の紹介など、障害福祉に関する情報を発信する「いべんとアラカルト」や「ひこうせん未来」の発行に運営委員として関わりました。